

令和3年度 行政評価調書

総合計画 吹田市第4次総合計画

評価対象年度 令和2年度

大綱 6 都市形成

政策 2 安全・快適な都市を支える基盤づくり

施策 1 道路などの整備

施策 2 水道の整備

施策 3 下水道の整備

施策 4 交通環境の整備

提出日 令和3年7月27日

提出取りまとめ 土木部

第4次総合計画 施策の評価シート

大綱 6 都市形成

政策 2 安全・快適な都市を支える基盤づくり

評価対象年度 令和2年度

<取組内容>

施策	基本計画本文
施策を構成する管理事業	施策の取組状況
6-2-1 道路などの整備	安全で快適な道路環境を確保するため、歩道などのバリアフリー化を進めるとともに、計画的に道路や橋、街路樹の適切な維持管理を行います。また、都市計画道路の整備を進めます。
1 道路事業 2 公共用地先行取得事業 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に計画していたバリアフリー化工事につきましては、計画通りに完了しました。道路や橋、街路樹につきましても、計画的に維持管理を行いました。 上の川の一部を暗渠化し、遊歩道を整備することで神崎川から続くみどりのネットワーク軸を延伸して良好な景観形成を図るため、市民アンケートを反映し実施設計をしました。
6-2-2 水道の整備	安全な水を供給し続けるため、水道施設を適切に維持管理するとともに、計画的な更新に取り組みます。また、地震などの災害リスクを軽減するため、施設の耐震化などを進めます。
1 - 2 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> 片山浄水所水処理施設更新工事については、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、工程の見直しを行ったことで、供用開始時期に遅れが生じました。津雲配水場場内管耐震化等工事において、場内にて漏水が発生し、その対応に時間を要したことから工程に遅れが生じました。その他の浄配水施設・設備の更新及び耐震化、維持管理はおおむね計画どおりに実施しました。 法定耐用年数(40年)を超える水道管の更新延長は、前年度実績を上回る約10.0kmを更新しました。 片山浄水所と泉浄水所をつなぐ連絡管が完成したことにより、基幹管路整備においては、前年度実績を大幅に上回る約5.0kmの整備を実施しました。これにより基幹管路の耐震化率は47.2%となりました。
6-2-3 下水道の整備	快適な生活や環境を守るため、下水道施設を適切に維持管理するとともに、計画的な更新・長寿命化に取り組みます。また、地震や豪雨などの災害リスクを軽減するため、施設の耐震化や浸水被害の軽減対策などを進めます。
1 水路事業 2 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> 下水道総合地震対策計画に基づき、広域緊急交通路の下水道管路について耐震化詳細設計(1.0km)を実施しました。 長寿命化計画に基づき汚水管の改築(4.1km)を実施しました。また、下水道施設全体をとらえ、長期的な視点で施設のリスクや重要度を考慮したストックマネジメント計画に基づき、調査を実施しました。 浸水対策として、管路の整備(0.1km)を実施しました。また、上の川治水対策として雨水吐口の位置を流下能力の大きい下流側へ変更する工事を進めるとともに、市南部の抜本的対策として雨水レバレッジ整備工事中の島・片山工区を進めています。 老朽化した排水管の調査を実施するとともに、過年度の調査結果により緊急度の高い箇所(0.1km)等を実施しました。また、水路の清掃等により排水貯留能力を確保することで、浸水被害の軽減に取り組みました。 市民からの要望により、約1,400袋の土のうを配付積立しました。また、止水板を設置する市民等に対して費用の助成を行いました。
6-2-4 交通環境の整備	自転車を安全・快適に利用できる通行空間や自転車駐車場などの確保を進めるとともに、交通ルールの啓発に取り組みます。また、関係機関と連携しながら、公共交通の利便性・安全性の向上を図ります。
1 交通対策事業 2 総合的自転車対策事業 3 自動車駐車場事業 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通が不便で鉄道駅から高低差があり移動が困難な地域における高齢者等の移動手段の確保等を目的として、千里丘地区でコミュニティバスを運行しています。また、千里山地区においては、吹田市地域公共交通会議を立ち上げ、乗合交通導入に向けて検討を進めております。 施策指標1の「自転車通行空間の整備延長40km以上とする」について、最終年度の目標を達成するためには、必要な予算措置や業務の効率化等の取組を強化する必要があるため、進捗状況は「C」としました。 自転車駐車場の利用を促進した結果、放置自転車の移送台数は過去10年間で大きく減少しています。 自転車駐車場の利用率は近年80%以上で推移していますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い73.1%に減少しています。しかし吹田市内全体としては駅前の自転車駐車場を利用する習慣が市民に根付いていると判断できます。 JR岸辺駅前など一部の箇所では収容台数が不足している地域があるため、局地的な自転車駐車環境の改善にも努めます。

第4次総合計画 施策の評価シート

大綱 6 都市形成

政策 2 安全・快適な都市を支える基盤づくり

評価対象年度 令和2年度

<施策指標等の推移>

目標 (令和10 年度)	めざすま ちの姿
17Km	道路、水道、下水道などの適切な維持や、公共交通の利便性の向上により、だれもが安全・快適に暮らせるまち
96%	
93Km	
58%	
65Km	
55%	
40Km	
—	

6-2-1 道路などの整備											
施策指標1		バリアフリー重点整備地区内の主要な生活関連経路などの整備延長(単位:km)									
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	8.3	9.1	9.9	13.3							
進捗状況		A	A	A							
施策指標2		都市計画道路の整備率(単位:%)									
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	91	92	92	93							
進捗状況		A	A	A							
6-2-2 水道の整備											
施策指標1		水道管路の更新延長(単位:km)									
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	7.2	12.9	22.0	32							
進捗状況		A	A	A							
施策指標2		水道基幹管路の耐震化率(単位:%)									
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	41.9	42.4	43.9	47.2							
進捗状況		B	B	B							
6-2-3 下水道の整備											
施策指標1		下水道管路の更新及び長寿命化延長(単位:km)									
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	23.9	28.8	31.4	35.6							
進捗状況		A	A	A							
施策指標2		雨水排水施設の整備率(1時間に約50mmの降雨に対応)(単位:%)									
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	54	54	54.03	54							
進捗状況		A	A	A							
6-2-4 交通環境の整備											
施策指標1		自転車通行空間の整備延長(単位:km)									
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	0.9	1.8	2.6	4.1							
進捗状況		C	C	C							
施策指標2		—									
年度	策定時 (平成29年度)	(平成30年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実績	—										
進捗状況											